

(非公式訳)

日本人バイヤー、ボケーテにて1ポンド1,029ドルで落札

この度、チリキ県ボケーテの山あいでもラマストゥスファミリー農園により生産されたエリダ・グリーン・ティップ・コーヒーが1ポンド(約453.6g)1,029ドルという最高値を記録した。

同コーヒーを購入したのは日本企業のサザ・コーヒー。7月16日火曜日に開催されたネットオークションで落札した。

「この結果はパナマという国にとっての成功です。毎年パナマ産のコーヒーが最高値を叩き出します。世界中から集まる厳しい目を持つバイヤーに購入されるこの結果こそが、ボケーテ地区の誇りであり、それが世界一のコーヒーであることを証明しています」と、パナマスペシャルティコーヒー協会(SCAP)プリニオ・ルイス会長は言う。

同ネットオークションは毎年開催され、今年は7月16日火曜日午後11:43に締め切られた。結果として49ロットのコーヒーが総額5千6百万937.5ドルで落札されるという結果で幕を閉じた。そして世界中から集まった197のバイヤーがパナマのスペシャルティコーヒーに落札した結果、1ポンドあたりの平均落札額においても100.7ドルという最高値を記録した。

今回、合計13ロットが100ドルを上回る結果となり、ゲイシャ・ウォッシュドのエリダ・グリーン・ティップ・コーヒーを筆頭に、2位1ポンド331ドルで同種のロットがサザコーヒーにより落札、3位は1ポンド318ドルで、ロングボード・ウインディーリッジGNのロットがゲシャリー・コーヒーによって落札された。

その他にも老舗であるラ・エスメラルダ農園の、エスメラルダブルボンのロットは1ポンド100ドル、パカマラ種において最高値となる1ポンド250.5ドルで、ジャンソン・ファミリー農園のロットが落札された。

同ネットオークションにはイギリス、アメリカ、中国、サウジアラビア、韓国、ニュージーランド、台湾、日本、シンガポール、香港、オーストラリア、カナダ、スイス、コロンビア、フィリピン、インドネシア、モロッコ、アラブ首長国連邦、ギリシャ、アイルランド、ベトナム、クウェート、スペインからの参加があった。

参加者によって落札された豆はゲイシャナチュラル、ゲイシャウォッシュド、パカマラ、トライデショナル・ナチュラル種、トラディショナル・ウォッシュド種で、計5,650ポンド(約256万2840キログラム)となり、これらは近年ザ・ベスト・オブ・パナマにて高得点を獲得している。

SCAPの会員であるレイチェル・ピーターソンは、2018年の最高値1ポンド803ドルを超えられると期待していたこともあり、今回の結果に非常に満足しており、コーヒー生産者として、最高のコーヒーを求める世界中のバイヤーへ高いクオリティの産物が並んだのではないかと述べた。

このイベントは、パナマコーヒーの地位を裏付けただけでなく、20年以上に及ぶパナマコーヒー農園者たちの努力、苦悩の末に導かれた結果であることを示している。